

# アートの日紹介 (段ボール)



一番最初に職員同士でアートの日を話し合った際、子ども達が登園してきて、色々な形や大きさの段ボールが園庭にたくさん置いてあつたらどう思うかな～♪ ワクワクするかな～♪ 好きに使っていいよって声を掛けたらどんなことが起こるかな～♪と子ども達の様子を思い浮かべると楽しくて話が盛り上がったことを思い出します。アートの日には子ども達一人一人が想像と創造を楽しめるよう、絵具やガムテープ、段ボールカッターや廃材などの準備を事前にしておきます。

例えばお家をイメージすると、靴を脱いだり窓や玄関、水道や冷蔵庫…



それぞれの子ども達が“お家”というイメージを元にアイディアを出し合い、役割分担をしながらどんどんお家づくりに引き込まれ、いつの間にかごっこ遊びに展開していく子どもたち。中には独りで黙々と取り組み何かイメージが完成するたびに大人に紹介してくれた子もいます。段ボールを長く敷いたら道路や線路にも見えるね、車を作ろう、駐車場も必要だね。大人の指示ではなく広がっていく子ども達の発想を私たちは大切にし、保育者はその気持ちに寄り添っていきたいと思います。

